

さぽせんニューズレター

2015 年春号
Vol.44



特集 「ちがさきサポセン☆ワイワイまつり 2015」

- P.2～5 ちがさきサポセン☆ワイワイまつり 2015 テーマは「LINK!」
- P.6 まつりレビュー
- P.7 もっと知りたい！サポセンのこと@2015年1月～3月
- P.8 ちがさき市民活動サポートセンターからのお知らせ

参加するたび 私のまちが 好きになる

ちがさきサポセン★ ワイワイまつり



テーマは **LINK!**

2015. **3.7(土)**

10:00~15:30

中央公園

75 団体が参加・協力!

約 **1,200** 名来場

オープニング -雨上がれ!!-

断続的な雨と、風が強く気温が低い悪天候の中、開催を決意。準備を整え、公園のど真ん中、見晴らしの良い特設ステージに、参加団体と来場者が全員集合。「がんばるぞー!」「おー!」の掛け声で一致団結。想いが通じたのか、次第に雨も上がっていき…大学生3名のパワフルな司会進行により、いよいよスタート!



ステージ -見どころ満載のパフォーマンス-

手話ダンス、介助犬・聴導犬の実演、バンド演奏、フラダンス、切手寄贈式、防災、ライブペイント、笑いヨガ、アフリカンダンス、懐かしい歌・みんなの歌…10 団体による色とりどりのパフォーマンスを見て自然に手拍子が起こったり、歌が聞こえてきたりと、出演者・参加者が一体となって会場を盛り上げました。



参加・協力団体一覧 *50音順

【NPO】

アフメロックス / アロハちがさき〈松籟〉/ アンダーバンド / NPO法人ウェルフェアポート湘南 / 歌声サロンチーパッパ / NPO法人 NPO サポートちがさき / (公社) 神奈川県社会福祉士会 湘南東支部 / 神奈川県ゆいまーの会 / 元気創造プロジェクト / NPO法人コネット湘南 / ザ・フラワーワゴン / 三翠会 / じゃおクラブ湘南 / 手話ダンス・フライングハンズ茅ヶ崎 / 精進料理研究所 / 湘南芸術研究所 / 湘南傾聴の会 / NPO法人 湘南スタイル / 認定NPO法人湘南ふじさわシニアネット / (社福) 翔の会 / スク&たま with ハウオリ / Team Aid For Japan~しょうなん茅ヶ崎災害ボランティア / チームみつばち / NPO法人茅ヶ崎演劇鑑賞会 / Chigasaki Cat's Protect / 茅ヶ崎郷土会 / NPO法人ちがさき自然エネルギーネットワーク / 茅ヶ崎市聴覚障害者協会 / 茅ヶ崎市まなびの市民講師有志の会 / 茅ヶ崎民話の会 / ちがぼ~ / NPO法人地球の木・茅ヶ崎 / 中学生の意見を活かし隊社会教育課 / つなぎの会茅ヶ崎 / 適切な情報提供プロジェクト / 南湖みんなでやんべえよ会 / にじまる湘南 / ネパールとの架け橋 ねばるば / NPO法人 paw pads / NPO法人発達サポートネットバオバブの樹 /



春のおまつり新定番！

子どもから大人まで、家族や友達とワイワイ楽しむことができるイベントです。毎年3月に開催し、模擬店・物品販売・体験・ステージ・防災特設テント・スタンプラリーなど、彩りあふれるプログラムが満載！目的は、茅ヶ崎をより良いまちにしようと活動する人たちが、①市民活動の楽しさ・おもしろさを多くの市民に伝え、②互いの活動を知り、交流を深め、③力を合わせてまちづくりに取り組むきっかけにすることです。

テーマは LINK！

昨年、中央公園で初開催した際、まつりを盛り上げるために、あらゆるジャンルや世代を超えてみんなで団結できたことは本当にうれしく、感動しました。今年はその経験から、テーマを「LINK!」とし、新しい関係が生まれる喜びや、お互いを理解してイベントを盛り上げる楽しさを、より多くの方に実感していただけるまつりを目指しました。

ボランティア -まつりを支える市民パワー！-

開催日へ向けて、様々な形のボランティア参加がありました。会場内の看板づくりやスタンプラリーの景品づくりなどの事前準備、前日および当日の会場設営や運営に携わってくださった方々。市民のご厚意が頼りのスタッフ一同は大感謝!! 本当にありがとうございました。次回もどうぞよろしくお願いします(◡◡)!



受付・本部 -笑顔で「まつりへようこそ！」-

「さぼちゃん探すの？面白そう！」と嬉々としてスタンプラリーに参加してくれた親子連れ。冷たい雨の中、笑顔を決やさず全力でサポートしてくれたボランティアさんたち。「参加はとりやめたけど遊びに来ました～」とまつりそのものを楽しんでくださった団体のみなさん。数々のすばらしい出会いと交流がありました。

【NPO】

Karon(Habitat 文教大学支部)/ぶれジョブちがさき・さむかわ / 文教大学 笠岡ゼミ / 文教大学湘南 和太鼓部「楓」 / NPO法人松の実会 地域活動支援センター みらまーる / まなびの市民講師 矢嶋望 / NPO法人マメポニ / 「山田耕作」と「赤とんぼ」を愛する会 / ローカルファースト研究会

【企業】

(株)Asian Bridge(sun café) / カンティーマ・マッシュ / しんちゃんのごはんやさん / (有)スズキ企画 / 大衆割烹みや川 / レストランなんどき牧場 / モリタ宮田工業(株) / (株)モンベル茅ヶ崎店

【行政】

茅ヶ崎市安全対策課 / 茅ヶ崎市市民課 / 茅ヶ崎市消防本部警防課 / 茅ヶ崎市防災対策課

【協力】

アートケアひろば / A G Cセイミケミカル(株) / NPO サポーターズ / (有)エボシ / オフィスパブリカ / つつじの会 / NPO法人シニアダンスサポート / 湘南ステージア / 茅ヶ崎市環境事業センター / 茅ヶ崎市建設総務課 / 茅ヶ崎市市民自治推進課 / B A S F ジャパン(株) / NPO法人プラス・アーツ / 文教大学国際学部

模擬店 -笑顔と食で元気を届けました！-

NPO の他、市民活動を応援する市内飲食店など、合計 14 団体が出店。来場者・参加者の冷えた体を温かな食べ物、飲み物、スイーツ、そしてなんといっても元気な呼び声！！で癒してくれました。おいしい食べ物と笑顔って、最強のエネルギー源ですね☆雨も風もみんなの気持ちをより強い団結に導いてくれました。



エコステーション -作業もエコに！-

模擬店出店団体の自主的なゴミ回収により、今年は 1 か所に設置。残飯はしっかり水分を切る、ビン・カンの中身を洗い流すなどひと手間かけることで気持ちよく分別収集できました。ボランティアの方・各団体のご協力や市役所担当課のサポートで作業もスムーズに行うことができ、心がほっこり暖かくなりました。



体験 -つくって、ふれて、おもしろさ発見！-

湯たんぽが 6 個入ったこたつが公園に出現。大人も子どもも温まりながら復興支援につながる羊毛のフェルト人形を“ちくちく”と作成しました。また、ポニーへの乗馬・エサやりの他、手話体験、おもちゃ作り、バルーンアートなど体験ブースでは市民活動の面白さを体感できました。



物品販売 -想いがつまった品々を販売！-

活動資金のために一生懸命作ったお値段も優しい手作り品！すっかりおなじみの、茅ヶ崎で収穫したお米！そして東北の復興を願って仕入れた商品！あいにくの天候で出店を断念された団体がいくつもある中、雨も寒さもなんのその！元気に声かけし売り切る姿は見ていてグッと来るものがありました。



オリジナル -ジャンルを超えた企画が集結-

日頃の活動紹介のほか、その場で福祉相談を受けたり、子ども向けアトラクションで盛り上がりたりするなど様々な参加がありました。また、ブース内での抜き打ち防災訓練（シェイクアウト訓練）では、来場者と参加団体が一斉に「ダンゴムシのポーズ！」災害時の身の守り方を学びました。



復興支援テント -ひとつの想い-

放射能を浴びた牛は普通殺処分される…その牛を育て続けている「希望の牧場」。絵本の読み聞かせで、涙ぐむ来場者たち。気仙沼つなぎの会の中村さん、南三陸の民子さん、双葉町商工会議所青年部の方々を招いて震災当時と最近の思いなど、『生』の声を伺いました。（参加団体：チームみつばち・つなぎの会茅ヶ崎・ザ・フラワーワゴンはじめ ALL CHIGASAKI PLUS）



サポセンが後方支援をしている「イザ！カエルキャラバン！」も実施。楽しみながら防災訓練ができる人気のプログラムが満載！市内自治会や推進協の有志ボランティアの方々が活躍でした。「おもちゃのかえっこ」最後のオークションは、子どもたちに大好評！大盛り上がりでした。

エンディング -心をついに結んだ歌声-

復興支援ソング『花は咲く』を会場のみなさんと大合唱。歌声サロン「チーパッパ」の演奏にのせ、会場が一体となるエンディングを迎えました。中には涙ながらに歌う姿も。最後は世代を超えたたくさんの方がステージに駆け上がり、心がついに結ばれたフィナーレとなりました。



▶参加団体・ボランティアの声

楽しかったこと・よかったこと・うれしかったこと	気がついたこと	工夫したこと	次回チャレンジしたいこと	サポセンへのメッセージ
「スタンプラリーで団体の活動をクイズ形式で紹介したところ、『そんな素晴らしい活動があったのですね』とみなさんに知ってもらうことができました」 「活動を他の団体に PR できた。後日連絡をいただいたりもした」 「いろんな人と交流でき、新メンバーも増えた」	「市のおまつりに参加する時より、参加団体同士が一緒に盛り上げよう、助け合おうとする気持ちがあって、あたたかい交流が生まれました」 「小雨の中、お客さんたちの頭上にサークルメンバー、ろう者たちが傘を差し伸べていました。お互いに思いやる心が生まれ、感動しました」	「平均年齢 75 歳の会員が心をついにして、ネックレス・袋物・編み物などを楽しく作りました。残念ながら雨のため品物を並べることができませんでしたが当日までの日々が楽しく過ごせました」 「わが子が学校の友達にもチラシを配っていた」 「参加型の活動紹介で知ってもらえる機会が増えた」	「金曜夜からのサバイバルテント」 「スタートがあいにくの雨のため、アイドルのモン太君がおやすみしました。来年は晴れにしましょう！」 「再度こたつ！ですね」 「書いてしまうとやらなければなりません。胸の中に温めておきます」	「スタッフの方々が 1 つ 1 つの団体の声を丁寧にきいて下さってどうしたらよりよくなるかを一緒に考えてくださることがとてもとても有難いです。寒さの中でしたが心あたたまる 1 日でした。」 「またボランティアとして参加したいです」 「よりワクワクするおまつりにしていきたいと思います」

まつりレビュー

▶開催までのあゆみ

キックオフ交流会

まつりに興味がある団体がまずは顔合わせ。お互いに活動内容を知ること、まつりに向けてのワクワク感が生まれます。

場所&プログラム作戦会議

参加団体が決定し、次はカテゴリー毎に分かれて細やかな打ち合わせ。コラボ企画のアイデアが出てくるなど、ここで団結力が強くなる！

最終確認打合せ

まつりが安全に、楽しく開催されるようみんなで最終チェック。当日のイメージが具体的になり、あとは晴れることを天に祈るのみ・・・。

11月

1月

2月

▶数字でふりかえるワイワイまつり

参加・協力：**75** 団体（初参加：18 団体）

NPO：54（市民活動団体データベース登録：38）

企業・事業者：13

行政（市担当課）：7

大学（文教大学）：1

参加団体の売上総額：約 **42** 万円

模擬店：約 33 万円 物品販売：約 4 万円

体験：約 5 万円

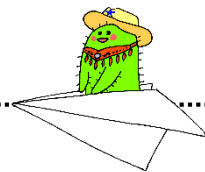
ボランティア：のべ **82** 名

まつり前の準備ボランティア：**12** 名

スタンプラリー景品準備・当日会場で使用する椅子の養生・看板、ステージめくりの作成・ステージ設営・テント区画地割り、備品運搬など

イベント当日のボランティア：**70** 名

ステージ解体・出店者テント設営解体・イザ！カエルキャラバン！運営補助・本部受付・エコステーション・車両、自転車の誘導整理・清掃片付けなど



“参加するたび、私のまちが好きになる” おまつりを目指して

いかがでしたか？通算 6 回目、中央公園で 2 回目の開催となる今回は、ステージを公園の中心に配置するなど、テーマ「LINK！」を意識した会場づくりに取り組みました。

また昨年の反省点「会場設営・撤去」「来場者の安全確保」など、運営上のリスク管理における課題をクリアした他、テント・机・イスなどを参加団体がより自主的・自立的に準備することを通して、工夫や新しいつながりができました。

一方で、前日からの降雨と厳しい寒さにより、やむを得ず参加できない団体さんがいたこと、たくさんの来場者の方にお越しいただけなかったことは悔しくてなりません…。

しかし、イベントを成功させるために、参加団体みなさんと度重なる打合せや交流を積み重ねた結果、あらゆるジャンルや世代を超えて一致団結できたこと、そして開催の意義について「規模の拡大、成長だけが進化ではない。参加する皆さんの活動を知ったり、顔がわかったり、声を掛け合ったり…そんなおまつりも良いな」という声をいただき、本当に嬉しかったです。

次回は 2 年間の経験を糧に、よりワクワクして楽しむことができるイベントを目指します。ご期待ください！

もっと知りたい！サポセンのこと @2015 年 1月～3月

『市民活動応援イベント・プログラム』～実施報告～

「NPO の保険まるわかり」

NPO 講座 2015



「活動中にケガをしてしまったら?」「借りたものを壊してしまったら?」・・・

『ボランティア活動保険・行事用保険（ふくしの保険）』、『NPO

活動総合保険』『市民活動等災害補償制度』計 3 種類の保険のプロをゲストに迎え、補償対象者・補償内容について、事例紹介や Q&A を通して学びました。ケースごとに異なる難しい内容にも関わらず、満足度は 80%!

「各種保険の内容がある程度理解できた」

「個別相談の時間がゆっくりとれるといい」

などの声をいただきました。

▷安心安全な活動を支える3つのポイント

- ① 自分の活動にあった保険を選ぶ
- ② 補償手続きに必要な書類を準備しておく
(公益目的の活動であることを明記した団体規約、
会議の議事録・日程表・参加者名簿などの活動記録等)
- ③ 事前準備をしっかり行い、安全対策に努める

保険選びや加入についてお悩みの際は、サポートセンターにお気軽にご相談ください。

日時：2015 年 2 月 21 日(土)14:00～16:00

場所：ちがさき市民活動サポートセンター

参加者：8 団体 10 名

ゲスト：

迫田元就さん（損害保険ジャパン日本興亜株式会社）

江澤城司さん（パワーリンク株式会社）

富田雄也さん・石津貴美子さん（茅ヶ崎市市民自治推進課）

「さぼちゃんポスト」寄贈式

@ちがさきサポセン☆ワイワイまつり

日時：2015 年 3 月 7 日（土）12:15～12:30

「さぼちゃんポスト」は家に眠っている未使用切手をお預かりして NPO の情報発信を応援し地域を元気にする仕組みです。今年度は 11 団体、計 10 万円分を寄贈。寄贈式では「アンドーバンド」の演奏を BGM に、発案者である横井邦彦氏から各団体へ切手が手渡されました。「たくさんの人に情報を届けることができ、さらに活動を活性化できる」など、喜びの声が寄せられました。

【寄贈を受けた団体】不育症そだってネット 茅ヶ崎、NPO 法人 茅ヶ崎ユニバーサルデザインスクエア 地域活動支援センター楽庵、茅ヶ崎の社会教育を考える会、茅ヶ崎市聴覚障害者協会、茅ヶ崎良い映画を観る会、まち景まち観フォーラム・茅ヶ崎、NPO 法人 ウェルフェアポート湘南、つなぎの会 茅ヶ崎、ムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクト、NPO 法人 湘南ふくしネットワークオンブズマン、湘南あゆみの会



第 11 回かながわイーパーツリユース PC 寄贈プログラム寄贈式@大和市勤労福祉会館

日時：2015 年 3 月 14 日（土）12:00～17:00

認定 NPO 法人イーパーツ協力のもと、「団体所有の PC で情報収集や情報発信を積極的に行いたい」団体へ、企業からのリユース PC を寄贈し、活動を支援するプログラム。茅ヶ崎からは茅ヶ崎市ターゲットバードゴルフ協会への寄贈がありました。次回募集は 6 月頃を予定しています。



2014 年度 ちがさき市民活動サポートセンター 利用状況（速報）

●利用者数（～3 月 29 日まで）開館日数 341.3 日

館内利用者数 3/28 現在	28,376 人（平均 83.1 人/日）
館外利用者数*	4,480 人

* 他の公共施設・会場で実施した主な主催事業

NPO 等と行政の協働に向けた意見交換会@市役所 / 1-ステップ茅ヶ崎利イネーション@社協 / よるカフェ@AE+（10ヶヶ崎店 AE+のイベント）/ イザ！カエルキャラバン！実施の後方支援@自治会等 5ヶ所 / ボランティア塾 in 鶴嶺高校 / ボランティア相談@ラスカ茅ヶ崎 4FC-square / 講師派遣（ボランティア大学、ちがさき丸ごとふるさと発見博物館ほか）/ ちがさきサポセン☆ワイワイまつり / 浜見平地区まちびらきイベント

●問合せ・相談

市民、NPO、企業等からの問合せ・相談総数 2/28 現在	359 件
-------------------------------	-------

多様な働き方で「パラレルキャリア」

「働く」は「傍（はた）、周りの人を楽（らく）にすること」が語源だと言われています。自分が働くことで傍（そば）ににいる人を楽にして、さらに多くの人が幸せを感じる社会に変えていくために「働く」、そんな思いをもった人たちが一堂に会したのが、ちがさきサポセン☆ワイワイまつりでした。冷たい雨が降る中、早朝から協力し合って準備をする人たちの姿に、傍を楽にしている市民活動の神髄をみた思いがします。

ちがさき市民活動サポートセンターができて10年余が過ぎ、時代の変化の中で、働き方・生き方に対する意識が大きく変わろうとしています。仕事をしながら週末に地域ボランティアに参加する、得意なことを生かして起業する、NPOを立ち上げるなど、本業を続けながら同時に社会的活動を積極的に行う人に出会うことが多くなりました。まさに、ピーター・ドラッカーが提唱する「パラレルキャリア」です。企業人でありながらNPOの活動ができる人材、また逆に、NPO人でありながら企業の風土を持って活躍できる人材を育成したいと地域コミュニティづくりに参画する企業も生まれています。

これからの10年はさらに多様な働き方で、人生を豊かなものにする「パラレルキャリア」を、NPOで実践する人が増えることを願っています。

センター長 益永律子

編集後記



はだの

NPOで働き始め6度目の春。笑顔・安心・幸せをつくる人・活動に出会う度、「市民活動は茅ヶ崎のまちの魅力の1つ」と実感！新たに想いが花開く瞬間を今後も楽しみたいです。

千ノ川沿いを毎日自転車で走ります。今は桜開花のやや手前。蕾がめいっぱいふくらみ、空気全体がピンクの霞のよう。生命力のある色彩が気持ちを前向きにしてくれています！



しばた



すずき

ちがさきサポセン☆ワイワイまつりエンディング「花は咲く」といえば…春を迎えつつあり、センターの花壇は色鮮やかな花々でいっぱい。ぜひ立ち寄ってみてくださいね！

ちがさき市民活動サポートセンターとは

市民活動団体やNPO、ボランティアなど、非営利で公益的な活動をしている人たちや、これから活動しようと考えている人たちの拠点施設です。

開館時間

9:30～21:30

休館日

毎月第3水曜日、年末年始（12/28～1/3）

アクセス

JR茅ヶ崎駅北口より徒歩10分くらい
駐車場10台程度

連絡先

〒253-0041 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎 3-2-7
TEL/FAX: 0467-88-7546
Eメール: s-center@pluto.plala.or.jp
ホームページ: <http://sapocen.net/>

指定管理者

特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき 指定管理期間：2013年4月1日～2017年3月31日

